

塾長の独り言 NO117 H21 .3 .13

「企業の成果 = ハード× ソフト× マインド」

最近、よく使っているキーワードは、

「企業の成果は = ハード× ソフト× マインド」と言っております。

昨日も研修をしていたピーターパンさんの横手社長も同じことを言っていました。

現在の不況期でも 繁盛しているのは、マインドが出来ている企業だけです。

20 世紀まではハードとソフトだけでも良かったのですが・・・もう限界が来ています。

つまりは簡単にいえば、お金と技術があってもアカンということです。

今回の大転換期は、過去の不況とは本質が異なります。

今まではコストダウンや新技術開発、生産性の向上などで対応できたのです。

しかし、今回の世界的に起きていることは・・・「需要の減少」です。

マーケットが縮小しているのです。

日本では、もう輸出に頼れないということです。

そして、予想外（業界外・外国など）のところからマーケット侵食です。

そこで、今必要なことは・・・「新しい価値の創造」です。（右脳の世界です）

創造するには・・・「価値観が問われます」。

現在のこの大転換期を乗り切るヒントは、原点に戻ることです。

江戸時代の日本では、教育とは

・・・知育 体育 徳育

この3つをバランスよく学んでおりました。

近代ビジネスの世界では、効率一辺倒で、知育（知識・能力など）に偏ってしまいました。

現在、世の中の流れは、やっと徳育の重要性気づき、比重がかかってきたようです。

徳育とは、右脳の世界です。

感性です。哲学・思想・価値観です。

個人のアイデンティティが問われております。

そこに現在の「大転換期を乗り切る『経営のカギ』」があると確信しております。

<コメント>

未来は誰もわからない！

ということがわかっていることです。（PFドラッカー博士）

だからこそ、自分自身に『そもそも何なのか？』と自己の心に問い掛けることが重要です。

原点回帰です。

ゼロベースで考えることです。本質を問い掛けることです。

その後、『どうあるべきか？』と理想の姿・ゴールを自己に問い掛ける必要があります。

だから危機はチャンスです。

深く、自分自身（自己）に問い掛けることです。そこにヒントがあります。

・・・つまりは哲学・思想・価値観を学ぶことがより重要になったと確信します。